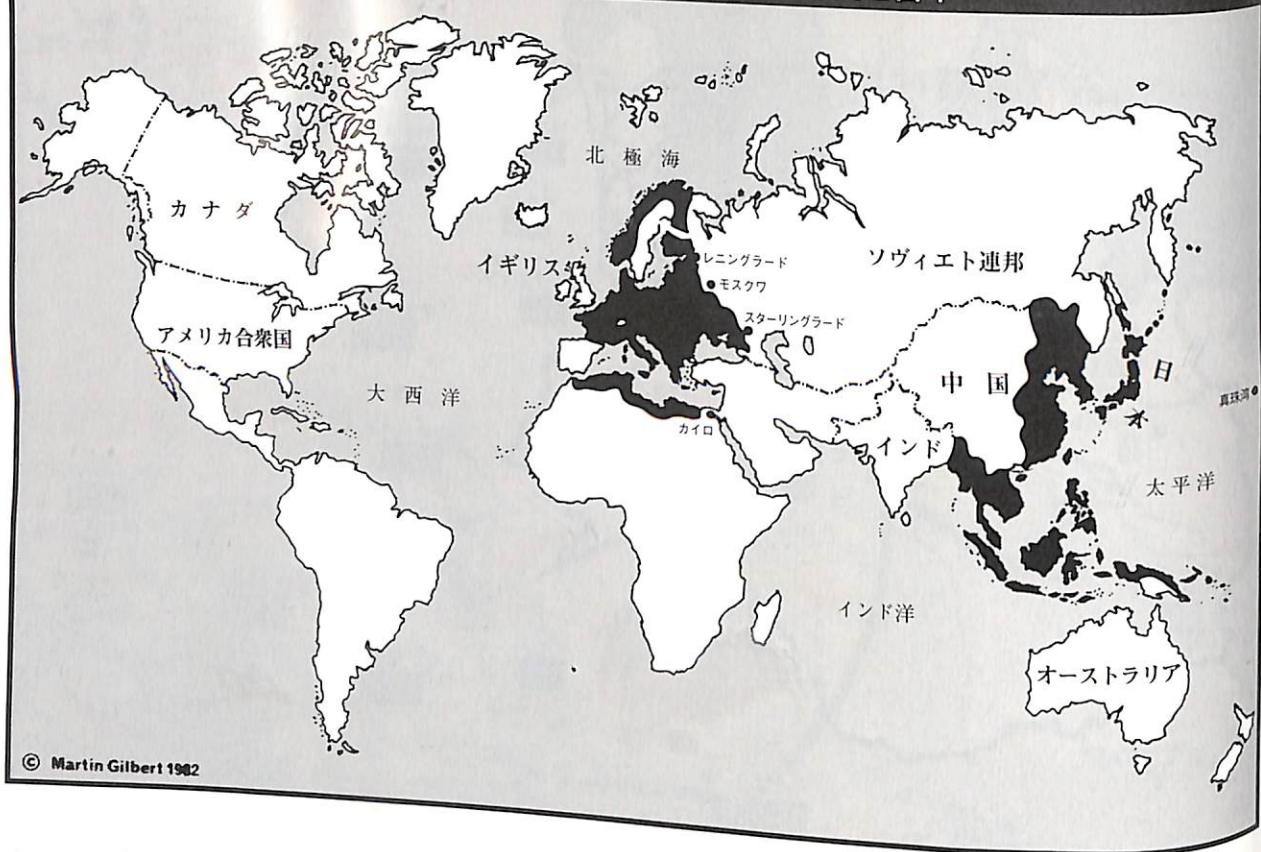


第二次世界大戦：アメリカ、枢軸諸国と日本



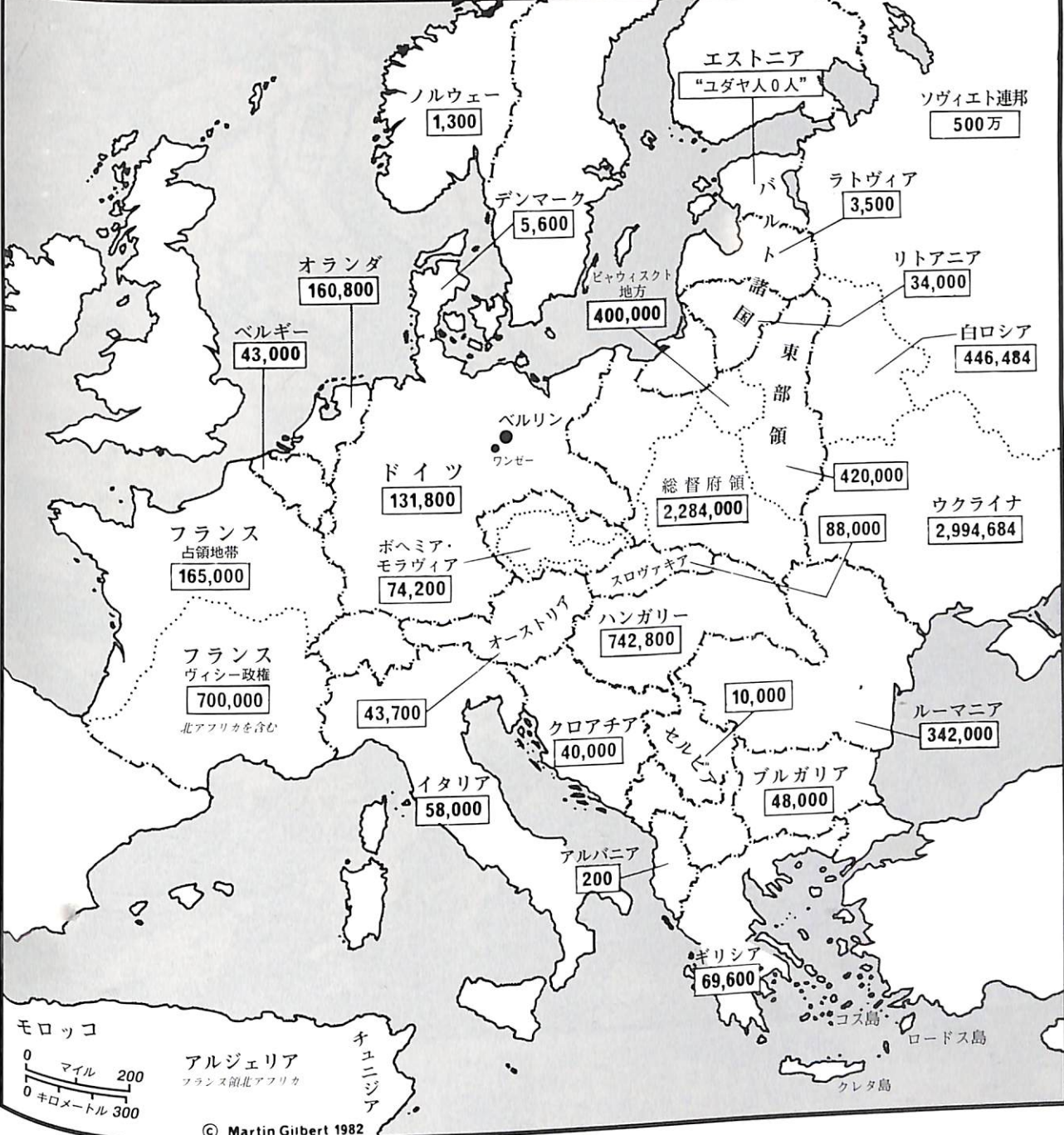
© Martin Gilbert 1982

バルト諸国で続くユダヤ人虐殺



© Martin Gilbert 1982

虐殺計画の対象になったユダヤ人 1942年1月20日



© Martin Gilbert 1982

ドイツ軍は1941年12月までにヨーロッパの征服者となり、同年12月8日には日本が英米を相手に戦争に突入した(地図97)。エストニアからは、移動抹殺隊がベルリンへ活動報告を送った。ラトヴィア、リトアニアにおける過去6カ月間のユダヤ人抹殺数は22万9052人と、1桁台の数字まできちんとした、相変らずの正確無比な報告内容であった(地図98)。

にドイツの党、政府および軍の高官が集まり、ヨーロッパのユダヤ人の最終的抹殺を話合った。彼等は、これから処理せねばならぬユダヤ人の数を、国別でも検討した(地図99)。ドイツの数字がきわめて小さいのは、すでに多数を処理した結果であることを示唆している。このワルゼー会議では、ユダヤ人男性の奴隷労働化、男性と女性の分離、大量移送によるユダヤ問題の「最終解決」計画が練られた。

1942年1月20日、ベルリン郊外のワルゼー